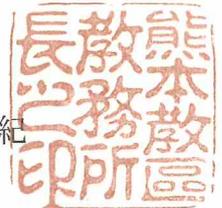




熊本教区教務所発第 131 号  
2025(令和 7)年 7 月 17 日

ご 住 職 様

熊本教区教務所長  
大 辻 子 順 紀



実践運動教区委員会委員長  
黒 田 了 智



『第 4 5 回 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要』  
熊本教区団体参拝旅行募集のご案内

謹啓

慈光照護のもと、貴職にはご健勝にてお念仏ご相続のこと慶賀に存じあげます。

また、平素より「御同朋の社会をめざす運動（実践運動）」にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、今年で 4 5 回目を数えます千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要が勤修されるにあたり、教区団体参拝旅行を別紙要項の通り企画いたしました。

また、戦後 8 0 年の記念事業として、悲惨な戦争を再び繰り返してはならないという平和への決意を確認し、いのちの尊さ、非戦・平和の大切さを次世代に語り伝えてゆくためにも、皆様お誘い合わせのうえ、是非ご参拝ください。

つきましては、貴職をはじめ、寺族や門信徒の方々にお勧めいただき、ご参加いただきますようご案内申しあげます。

合掌

第45回

# 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

## 熊本教区団体参拝旅行(戦後80年記念事業)

期日 **9月18日(木)～19日(金)**

行き先 **国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑、築地本願寺、迎賓館赤坂離宮他**

目的:仏教徒として先の大戦で亡くなられた全ての戦没者の方を追悼し、非戦・平和への願いと共に御同朋の社会をめざす運動へと願いを深める。



- ①教区行程 【1日目】7:45熊本空港集合(8時頃発)～羽田空港～昼食(楠公レストハウス)～法要参拝～東京夕にて夕食～ホテル泊(築地)～【2日目】築地本願寺晨朝参拝～迎賓館赤坂離宮～昼食(東京名物どじょう鍋)～東京クルーズ観光～羽田空港(17時頃)～熊本空港19時頃着

- ②現地集合・解散 国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑 12:40集合～14:20頃解散

※教区行程は一部変更になる場合があります。また、締め切り前でも、席数に制限があるため実施できない場合がございます。

■募集人数 20名(最少催行人数10名) \*定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

■参加費 **¥95,000.-** (現地集合解散の方は参加費不要)  
(納入については別途ご案内いたします。キャンセルの時期によってはキャンセル料が発生する場合があります。)

■申込方法 申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX、持参、または郵送にて教務所までお申し込みください。

■締め切り 8月20日(水)正午まで

■申込先 熊本教区教務所 千鳥ヶ淵法要団参係  
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目3番32号

TEL 096-343-8283  
FAX 096-345-9167

キリトリ

◇健康上の留意が必要な方は、備考欄にご記入ください。

◇申込者には改めて集合時間、場所等の詳細のご案内をいたします。

			備考	
氏名	所属寺	住所	電話番号(携帯可)	いずれかに○
	組			①教区行程
	寺			②現地集合解散

The 45th Annual Memorial Service  
for Those Who Perished in War

戦後80年

戦争で失われた  
すべてのいのちを追悼し  
平和への誓いを新たに



第45回

千鳥ヶ淵戦没者墓苑から  
日本の国内外に響かせる  
平和への誓いと願い

# 千鳥ヶ淵 全戦没者 追悼法要

## 法要の願い

「千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」は、宗門として、悲惨な戦争を再び繰り返してはならないという平和への決意を確認するため、毎年9月18日に、東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において修行しております。  
法要では、国籍、思想、信条を超えて、すべての戦争犠牲者を追悼し、平和への誓いを新たにします。

## 場所

東京 国立・千鳥ヶ淵  
戦没者墓苑



東京都千代田区3番町2

## <交通>

- 東京メトロ・東西線「九段下駅」下車
- 東京メトロ・半蔵門線「九段下駅」半蔵門駅下車
- 都営新宿線「九段下駅」下車

※ 各駅よりいずれも徒歩10分

2025(令和7)年

# 9月18日(木)

12時45分～14時15分  
(開場時間11時30分)

## 日程

宗門関係学校生徒作文朗読・表彰式  
仏教讃歌斉唱・献華  
平和の鐘  
平和を願うメッセージ  
千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要  
—ご門主様ご親修—

浄土真宗本願寺派(西本願寺)

後援 公益財団法人 全日本仏教会



# 第45回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

～平和への決意を共に、新たに～

## 「平和の鐘」

9月18日(木)  
13:20-13:25

毎年9月18日、千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要では、宗門として恒久平和への願いを新たにするため「平和の鐘」を撞きます。「讃仏偈」に「響流十方」とお示しのように、仏の教えが十方に響き渡り、平和への思いがひろまることを願い、今年も鐘の音を響かせます。

宗門では、この「平和の鐘」と同時刻に、全国の寺院で鐘を撞いていただく取り組みをすすめています。

※実施については各寺院にお問い合わせください。



## 法要へのご参拝について

いのちの尊さ、非戦・平和の大切さを次世代に語り伝えてゆくためにも、皆さまお誘い合わせのうえご参拝ください。

ご参拝を予定されている方は、最寄りの教務所までご一報ください

※沖縄在住の方は沖縄県宗務事務所まで

教区参拝団への参加を希望される方は、直接教務所にご相談ください。

組・寺院などで参拝団を組織される場合、個人で参拝される場合は、ご参拝人数取りまとめのため、教務所までご一報ください。



### ■ 国立・千鳥ヶ淵戦没者墓苑

千鳥ヶ淵戦没者墓苑は、1959(昭和34)年に国立の墓苑として建設され、戦没者のご遺骨が納められています。その多くは戦後、各地より収集されたもので、ご遺骨は六角堂中央陶棺下の地下と六角堂正面の地下にご安置されています。



第 25 回 浄土真宗本願寺派九州地区門信徒の集い  
仏教壮年鹿児島大会



写真協力：鹿児島観光コンベンション協会

◆ 大会テーマ ◆

「いづくしみ 慈しむ」

～まことのいのち ためさるとき～

期日

2025(令和7)年 10月19日(日)  
9:00〈受付〉～15:15〈閉会〉

会場

川商ホール (鹿児島市民文化ホール)  
鹿児島市与次郎2丁目3-1

主催／浄土真宗本願寺派九州地区仏教壮年会連盟  
担当／浄土真宗本願寺派鹿児島教区仏教壮年会連盟

# 浄土真宗本願寺派九州地区門信徒の集い 第25回仏教壮年鹿児島大会 -開催要項-

## 趣旨 (要約)

「涙石 涙に濡れて 黙しけり まことのいのち ためさるとき」

この句は、鹿児島別院にある「涙石」をみられた、本願寺派勧学の梅原眞隆師が詠われたものです。

親鸞聖人が顕らかにされた浄土真宗のみ教えは、ここ鹿児島でも途切れることなく続いています。その道は平坦ではありませんでした。室町・戦国時代に近畿、北陸・東海地方では一向宗(浄土真宗)の一揆が起こりました。僧侶、農民、名主、地侍が連合して守護大名・荘園領主と戦い、それを恐れた薩摩藩は1597年から279年もの間、一向宗を禁止しました。掟を破った者は摘発を受け、弾圧され続けました。このような中でも人々は、人里離れた洞窟などで信仰を守ってきました。いわゆる「かくれ念仏」です。

今大会は、テーマを「いつくしみ 慈しむ」としています。

親鸞聖人は、南無阿弥陀仏とは「まかせなさい」という、阿弥陀如来から私に向けての呼びかけであると、顕らかにしてくださったのです。これは、阿弥陀如来が、九州の方々だけでなく日本中・世界中の真宗門徒をいつくしみ・慈しんでくださっているということです。

念仏の道は「おかげさま」と生かされる道であり、「有難う」と生き抜く道でもあります。短い時間ではありますが、朋に学び、朋にお念仏申し、その慶びを多くの方々へ伝えていける大会になればと願っています。

### 記念講演①



星野元興師

「江戸時代、さつま門徒は何を信じたのか  
～かくれ念仏信仰とは～」

- ・1974年生
- ・鹿児島大学大学院博士課程修了 博士(学術)
- ・浄土真宗本願寺派鹿児島教区伊佐組大岳寺住職
- ・志学館大学非常勤講師
- ・論文「過疎地域における寺院経営の変容と現状  
：鹿児島県の甑島と種子島の事例を中心に」  
・「琉球の隠れ念仏」- 仲尾次政隆の足跡を訪ねて」  
など

### 記念講演②



ソナム・ワンディ・ブティア師

- ・1973年生
- ・1993年3月3カ月の瞑想行を終え、ディブラの称号(日本で言えば阿闍梨)を授与される。
- ・1995年22歳の時、シッキムの仏教学校の校長となる。
- ・1998年25歳の時、インドのブッダガヤで向坊弘道師と劇的な出会いをする。向坊師の説く他力の教えに惹かれ、浄土真宗へと転向する。
- ・1999年向坊師の導きでグリーンライフ仏教研究所ネパール(カトマンズ本願寺の前身)の所長となる。
- ・2003年もっと浄土真宗を勉強したいとの願いは強く、来日して京都へ。30歳の時、京都中央仏教学院に入学。浄土真宗に帰依し、得度する。
- ・2004年浄土真宗本願寺派の教師、開教使を取得。
- ・2006年ネパール国カトマンズ本願寺の所長となる。

### 記念行事

#### 雅楽

#### 【南隅組雅楽会】

昭和の後半、大隅半島南部・南隅組の幾つかの寺には、雅楽をたしなむ門徒がおり、藤園恒弘住職が若い世代に声を掛け、練習を重ね、平成2年に浄福寺雅楽会が再結成されました。同住職が組長を務めた平成15年からは、広く南隅組の仏教壮年会や門徒推進員にも呼び掛け、練習を重ねており、各お寺の楽人さんとして育ってきつあります。メンバー10名ほど。



#### シマ唄

#### 【瑠璃はぶいら】

奄美のシマ唄・サンシン・チヂン・シマ踊りが大好きな、お気楽チーム「瑠璃はぶいら」。平成8年に結成。ユネスコ世界自然遺産に登録された奄美の大自然と島々を取り囲む大海原の瑠璃色と、奄美の方言で蝶を意味する「はぶいら」とを重ね合わせました。奄美では蝶に魂が宿るとも言われており、シマ唄を通じて御縁のあった方々に、シマ唄の想いが届くようにと願っています。



#### 和太鼓

#### 【薩摩川内おどり太鼓】

和太鼓を通した子どもたちの健やかな育成を目指し、昭和58年に創立しました。2008年NHK大河ドラマ「篤姫」の挿入曲である「花意書く」のレコーディング参加をはじめ、毎年フランス・パリで開催されているイベント「Japan Expo」にもこれまでに3度出演し、海外へも活動の幅を広げています。2024年には「鹿児島県優良観光団体」にも選定されました。



- 大会日程
- 9:00 開場・受付
  - 9:45 オリエンテーション
  - 10:00 開会式
  - 11:00 記念講演①
  - 12:45 記念行事
  - 13:40 記念講演②
  - 15:15 閉会式

- 申込・問合わせ
- ・各教区教務所・沖繩宗務事務所へお申し込みください。
  - 主催：浄土真宗本願寺派九州地区仏教壮年連盟
  - 担当：浄土真宗本願寺派鹿児島教区仏教壮年会連盟

- 交通アクセス
- ・鹿児島中央駅から  
・タクシー・自家用車…約15分  
・バス(東15番のりば)…約20分
  - ・鹿児島空港から  
・タクシー・自家用車…約60分  
・空港連絡バス…約1時間20分

- ・鹿児島I.C.から  
・タクシー・自家用車…約20分
- ・天文館から  
・タクシー・自家用車…約15分

川商ホールご案内



# 第 25 回 仏教 壮年 鹿児島 大会

## 教区 行程 参加者 募集

1. 行程期間 2025 (令和 7) 年 10 月 18 日 (土) ~ 19 日 (日)  
大会 期日 10 月 19 日 (日)
2. 宿泊 懇親会 宿 泊 : 鹿児島 市内 ビジネス ホテル (全室 シングル)  
懇 親 会 : さつま かこみ 庵 (鹿児島 市内)
3. 募集 人数 120 名 (定員 になり 次第、募集 締め 切り と いた します)
4. 参 加 費 一人 36,000 円  
(懇 親 会 費 (飲 み 放 題 込)、大 会 参 加 費 4,000 円 含 む)
5. 申 込 方 法 別 紙 申 込 用 紙 (教 区 行 程 用) に 記 入 の 上 お 申 込 ぐ だ さい。  
参 加 費 は 申 込 代 表 者 様 宛 に 後 日 ご 依 頼 申 し あ げ ます。
6. 申 込 締 切 2025 (令和 7) 年 8 月 1 日 (金)
7. 行 程



10 月 18 日 (土)	熊本 教 務 所 発 == 熊本 駅 == 御 船 IC == 宮 原 SA == 山 江 SA == 8:30 発 焼 酎 工 場 & 昼 食 == 花 尾 か く れ 念 仏 洞 == 鹿 児 島 別 院 == ホ テ ル 懇 親 会 11:45 ~ 13:00 15:00 ~ 16:00 17:00 頃 18:00 頃
10 月 19 日 (日)	ホ テ ル == 仏 壮 大 会 (川 商 ホ ー ル) == 鹿 児 島 北 IC == 8:20 発 8:50 ~ 16:00 == 桜 島 SA == 山 江 SA == 宮 原 SA == 御 船 IC == 熊 本 駅 == 熊 本 教 務 所 19:45 頃 着

※ 料 金 に 含 ま れ る も の

- ① 大 会 参 加 費
- ② 参 拝 懇 志
- ③ バ ス 代
- ④ ホ テ ル 代
- ⑤ 食 事 : 1 日 目 昼 食 ・ 夕 食、2 日 目 朝 食 ・ 大 会 弁 当

※ 乗 降 車 場 所 は、教 務 所 ・ 熊 本 駅 ・ 宮 原 サ ー ビ ス エ リ ア 等 を 予 定 し て お り ます。  
な お、参 加 状 況 に よ っ て は 変 更 す る 場 合 が あ り ます の で ご 了 承 ぐ だ さい。

※ ご 不 明 な 点 は 熊 本 教 区 教 務 所 (担 当 : 榎 林) ま で お 問 い 合 わ せ ぐ だ さい。

TEL096-343-8283 FAX096-345-9167

以 上

裏 面 申 込 書

【FAX.096-345-9167】

熊本教区仏壮連盟事務局 宛

浄土真宗本願寺派九州地区門信徒の集い「第25回仏教壮年鹿児島大会」

### 参加申込書

締切日：2025年8月1日（金）

No. \_\_\_\_\_

本願寺人吉別院

申込代表者氏名

電話番号

No.	組名	所属寺	名前	性別	年齢	連絡先	参加方法(いずれかに○)
1							①大会のみ・②教区行程
2							①大会のみ・②教区行程
3							①大会のみ・②教区行程
4							①大会のみ・②教区行程
5							①大会のみ・②教区行程
6							①大会のみ・②教区行程
7							①大会のみ・②教区行程
8							①大会のみ・②教区行程
9							①大会のみ・②教区行程
10							①大会のみ・②教区行程

通信欄

①大会のみ参加 参加人数 名 × 大会参加費 4,000円 = 合計金額 円

②教区行程で参加 参加人数 名 × 行程参加費 36,000円(大会参加費込) = 合計金額 円



熊本教区教務所発第 127 号

2025 (令和 7) 年 7 月 17 日

寺族若婦人の皆さま

熊本教区教務所長

大辻子 順 紀



熊本教区寺婦連盟会長

古川 佐 奈 江



### 第 1 回「寺族若婦人研修会」開催について（ご案内）

謹啓

慈光照護のもと、皆さまにおかれましては益々ご清祥にて念仏相続のことと慶賀に存じます。また平素より、当連盟の活動にご理解とご協力をくださり、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、寺族若婦人の研鑽並びに相互の交流のため、標記研修会を裏面開催要項の通り開催いたします。

つきましては、公私ご繁多のこととは存じますが、皆さまお誘い合わせのうえご参加くださいますようご案内申し上げます。

合掌

《詳細は裏面の開催要項をご清覧ください》

2025(令和7)年度  
第1回寺族若婦人研修会

お念珠を編んでみよう  
～修理とイメイク～

2025年  
9月2日  
(火)

教区会館  
2階大広間



ご法話を聴いた後、お念珠編みのワークショップをおこないます。皆さまぜひご参加ください。

- ◇講師 能令 顕真 師 (本願寺派布教使・益西組延福寺住職)
- ◇持参品 修理・リメイクしたいお念珠、お好みの組紐
- ◇参加費 1,000円 (当日ご持参ください)  
※組紐を事務局に注文の方は別途500円となります。

編み方について、このたびは「紐房」を編みます。お好みの組紐をお買い求めのうえご参加ください。インターネットで購入できるほか、ユザワヤ(鶴屋ウイング館4階等)など手芸用品店でもお求めいただけます。組紐は1mを2本ご用意いただければ大丈夫です。

なお、希望者には事務局でもご用意いたしますが、色は選べません。あらかじめご了承ください。

組紐は楽天やAmazonのほか、右のようなネットショップでもお求めいただけます。



数珠パーツの専門店  
クレストビーズ

### 日 程

13:00 受付  
13:30 勤行(重誓偈)  
13:45 法話  
14:15 休憩  
14:30 ワークショップ  
15:25 閉会式 ①挨拶 ②恩徳讃  
15:30 終了予定

### 申し込み方法

右の申込フォームから8月25日(月)までにお申し込みください。

組紐を希望される方は申し込みの際にご入力ください。



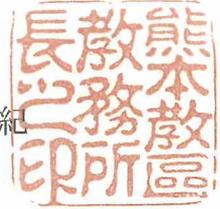
※お電話でも受付できます



熊本教区教務所発第 129 号  
2025(令和 7)年 7 月 17 日

単位代表者様  
住 職 様

熊本教区教務所長  
大 辻 子 順 紀



熊本教区仏婦連盟委員長  
小 谷 つ ゆ み



第 1 回 次世代育成にかかる研修会 開催について（ご案内）

謹啓

慈光のもと、貴台には益々ご健勝にてお念仏ご相続のこととお慶び申し上げます。  
また、平素より仏婦活動推進にご理解ご協力を賜わり、感謝申し上げます。

さて、今般当連盟年度計画に基づき、仏教婦人の育成を目的として標記の集いを開催いたします。

また、本研修会は、以前ご案内しておりました「仏教若婦人の集い」の名称を変更したものになります。昨今の社会情勢の中でも、年齢問わず新しく仏教を学ぶご縁の場をひろげるため、本研修会を開催いたします。

つきましては、ご多用の折とは存じますが、当連盟の趣旨をお汲み取りいただき、門信徒若婦人の皆様に参加方ご勸励くださいますよう、要項の通りご案内申し上げます。

合掌

同封物 ○開催要項(参加申込書付き) 1 枚

追記

通常、仏婦連盟の行事案内は仏教婦人会の単位会のある寺院にのみご案内いたしておりますが、若婦活動活性化のため、今回は全ヶ寺にご案内させていただきます。

# 2025年度 第1回 次世代育成にかかると研修会 開催要項

- 日時 2025(令和7)年 8月8日(金) 11:00~14:50
- 会場 熊本教区会館 2階大広間
- 内容 ご法話と万華鏡作りのレクリエーション
- 講師 高田聡信 先生(熊本教区菊池組照嚴寺住職)
- 日程 

① 10:30	受付	⑤ 13:00	講義
② 11:00	開会	⑥ 14:10	質疑応答
③ 11:10	万華鏡作り(レクリエーション)	⑦ 14:40	閉会式
④ 12:00	昼食	⑧ 14:50	解散予定
- 参加費 1,500円(万華鏡作成キット代・昼食代含む)
- 申込方法 ①申込用紙に必要事項を記入の上、郵送またはFAXでお申込ください。  
②また下記参加申込書のQRコードから参加申込を行えます。
- 申込先 熊本教区教務所  
〒860-0863 熊本市中央区坪井2-3-32  
TEL. 096-343-8283 Fax. 096-345-9167
- 締め切り 8月5日(火)
- 備考 ①当日は昼食として、お弁当をご用意しております。  
②お問い合わせは熊本教区教務所(担当:家郷)まで



## 2025年度 第1回「次世代育成にかかると研修会」参加申込書 (申込締切 8月5日(火))

氏名	所属寺院	組	寺
氏名	所属寺院	組	寺
氏名	所属寺院	組	寺
氏名	所属寺院	組	寺

\*備考欄

こちらからも  
参加申込できます→



教務所 FAX 番号: 096-345-9167

熊本教区教務所 TEL: 096-343-8283